

十八日替り名畫週聞
高津愛子主演
戀愛お國の戀日記
賀川清、千草香子共演
◆マキノ超特作
久し振りに吾等の女王
マキノ智子大熱演

女定九郎 九卷
南光明・曹川青雁・桂武男
櫻木梅子 川田弘三助演
◆天下無敵學生ローマンス
第二大學生活
（第三篇）（第四篇）ジョーヂ
ルイス氏、ガッゾア嬢主演
◆大帝キネ特作
松本田三郎、久野あかね
共演

仁俠佐原喜三郎
（全十卷）片岡重十郎、東
良之助、松枝鶴子助演
土日讀學生デー
◆料金 普通 有聲座

出たッ！！
特價ワイシャツ
今 スグ
綿 ネル 一 圓
純毛ラクダ 三圓五十錢
素晴らしい實行！
ネクタイ、シャツ、カラー
靴下
冬の御用意は
平四丁目
ツルヤ

喫茶部開設

外科専門
入院應需
上田外科醫院
平町南町
電話一二九番

御存じですか？
驛前新道通りの
ダイヤ堂
時計眼鏡
販賣修繕 鈴木時計店を
呼出電話八〇五番

市原醫院
平町田町（電話一一四番）
内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原 陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男

外科専門
花柳病
木村外科醫院
入院自炊の便あり
平町五丁目橋際
電話三〇九番

新築移轉
耳鼻咽喉科専門
氣管食道科
平町南町（舊診療所向）電話一七〇番
大和田醫院

常新新聞
第一版金貳圓 廣五號十二
一月五圓 廣告字詰一行
一月五圓 廣告字詰一行
日刊 印刷 川崎文治
本社下同番地（電話六三〇番）
印刷所 常盤毎日印刷所
電話六三〇番
刊夕日八十月十

衛生閑話 (六)
某醫師記
國家及び人類の幸福は蓋し之の衛生の力に俟つ事が多いので衛生は眞に健國の基礎をなし國家繁榮の原因となると申さねばならん、假りに生來虛弱であるか又非衛生の爲に身體の健康を害したなれば其損失は幾千でありませう。積極的方面に於ては身體虛弱のために醫藥料を支出して不生産的金錢を消費しなければならん、又消極的方面に於ては正當に得べき收入を得る事

が出来なくなり、斯く考へれば吾人が衛生を常に衛るといふ事は經濟上一日も欠く可らざるものであり、中には衛生に莫大な費用をかけたからとて直ちに數字を以て示す如き効果が現はれたり觀面に救はるゝものでない事から不生産的な畢業だと適切なる施設を嘲笑する者があるが、之は大なる誤見であります。成程「モーター」を一時間餘分に動かしたから夫れ丈の作業生産能力を増加したといふ様に常に数量的には表はれぬが其効果を仔細に然も長時日觀察しまするならば傳染病の減少出産率の増加

死亡率の減少其他種々の利益が自然の間に醸されて居る事に心付くであらう。現在支那南方及び我が國の大阪地方に流行するコレラ豫防の爲めに莫大の費用を投じ最善の衛生施設を以て夫が猖獗と防戦しつゝある事は御承知であらう
平町紺屋町（縣社通り）
美味イロキ食堂
味の部電話四六〇番
罐詰 体温計 寒暖計 電話三〇〇番

森の鍛冶屋
竹浦田超々
特作大映畫
◆井上正夫主演
映畫藝術に黎明來る人々よ見よ偉大な此寶玉を篇を
無限の興味湧き出で自然美溢る近來稀に見る一大無敵詩
助演 野寺正一、岡村文子、小村新一郎、日夏百合子、野寺正一
監作 村上三徳三郎 監督 清水廣
◆日活新人派傑作品
永井寛二郎……主演
由川正和……監督
（前半生）
久米讓、澤村春子、櫻井京子助演
權八が若き日の、いとすがくしき青春の繪卷である
◆松竹提供石太プロ大作
市川右太衛門……主演
古海 五 味 國 枝
若 卓 二 ……監督
任 小 金 井 小 次 郎 全
原作……壽々喜多呂九平
武州の旅に血と涙と剣に彩られた任刀義劍
◆十七日寫眞替◆
料金 普通
十九日 晝夜二回
二十日

カキ貝 御料理
十六日ヨリ
カキフライ
カキライス
カキなべ
カキ
洋式宴会 一の井
仕出し 平町田町
電話一六七番

高久病院
院長 醫學士 高久 清忠
副院長 新瀉醫學士 赤羽 雄
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
平町田町 電話五一三番

幾多の曲折を経 愈よ磐銀復活

昨日株主總會で 整理案可決さる

十二月一日から開業

平町の磐城銀行(資本金七十八萬圓)は財界動亂の餘波を受け昨年五月二十二日休業以來今日まで一路單獨整理開業に

猛進した が何しろ不良貸付金百七十四萬七千五百五十八圓九十五錢の多額に上つて居るため整理に少からず困難を來し整理を開始してから約一ヶ年半の間幾多の迂曲曲折を見たが重役の誠意と努力は遂に報いられた大藏省並に日本銀行の援助により資本金を二十五萬圓に減じ

積立金の 取崩しおよび重役の私財提供預金の一割五分切捨てとその残額に對して増資に伴ふ預金の株化を骨子にして整理案を作成し十七日の株主總會に付議可決したので引續き公金預金關係の磐城町村長會並に

各種團體 の承認を求め次で大口預金者に對しても同様の諒解を得て來る十二月一日から開業すると決定した

五厘は昭和六年拾二月末日まで三ヶ年間に分ずる置き以後七ヶ年間に分ずる置き支拂期日を拾二月に定め初年二年三年目は拾月八年四年五年六年七年八年目は各一割、九年目に三割、十年目に五割とし送金仕向手形三五千七拾七圓六拾九錢は開業と同時に支拂ひ一般預金八拾五萬圓の内八拾三萬五千圓は増額の株式に振替をなし振替の出來ない端數一萬六千二百六拾九圓五拾六錢は開業と同時に支拂ふ

一、無擔保債務支拂方法
無擔保債務總額百八十六萬四千七百五十一圓七拾一錢九厘の支拂方法は營業開始と共に百圓未満は金額即時支拂百圓以上百十七圓六十五錢までは百圓を支拂ひその残額は免除をこふこととし既報の利率は免除

二、擔保債務の支拂方法
擔保債務借入金總額九萬圓の中四萬圓は昭和五年拾二月までする置き以後二ヶ年間に分ずる置き(毎ヶ年拾二月)利率は年三分とし他の五萬圓は現在の擔保で決済し擔保付預金總額三拾六萬一千七百九拾七圓四錢も同様擔保で決済し未済利率は共に免除

三、日銀特融借入金支拂方法
日銀特融借入金現在額二百二拾五萬九千五百八拾八圓拾錢は昭和六年拾二月までする置き以後六ヶ年間に分ずる置き(延滞利率二分)

四、減資實行
現在資本金七拾五萬圓(一萬五千株)を二拾五萬圓(一萬株)に減資しそれより生ずる五拾萬圓を不良貸付の償却に充て資本金額二拾五萬圓の減少手續を終つた上更に八拾三萬五千圓を増加し(預金振替)資本金を百八拾五萬圓に増資

五、諸積立金の取崩し
積立金五拾五萬八千八百圓九拾六錢、全部を取崩し不良資金の償却に充當

六、私財提供
重役は二拾五萬圓を提供し不良債權の償却に充當

重役を改選

大藏省に一任
經營の衝に當るは整理案は以上の如きものであるが、この整理案に依る單獨開業を期とし營業の中心人物を選定すること並に經費を節約するため小名濱江名の兩支店は存続し富岡支店外七出張所は廢止する議案を提出し審議の結果株主は何れも原案通り承認可決、次いで重役の改選は左の如く決定したが、經營の中心人物の入選については大藏省並に日本銀行に依頼することになつた

- 取締役 安島 重三郎
- 同 白井 博之
- 同 永山 徳一
- 同 木田 武
- 同 平澤 内記
- 同 草野 順平
- 同 小野 晋平
- 同 大原 盛次
- 同 山崎 庫太郎

平町の露店問題 解決

場所を代へて
平警察署が交通事故防止の目的から平町三丁目角の露店營業を嚴禁したので常露店商組合では組合員全

部が調印の上營業の繼續を陳情し可成り面倒になつて來たが平署ではその後事情を考慮した結果三丁目の町角は危険が伴ふから營業を絶対に許さず但し營業者の生活を脅威し又町の繁榮にも影響するとすれば三丁目の磐城銀行前から東部において營業をする事を許可するといふ事になりこの露店營業禁止問題も圓滿解決を見た

醫師のない村にチフス

益々蔓延
石城郡貝泊村大字戸草部落に十三日腸チフス患者が一部に六名發生し更に十四日は三名の傳染患者を出したが目下發熱者が七名もある由であるが同部落は植田町より十里も距る山奥で村内には醫師が無く植田町より招くので一回の住診料三四十圓の多額に達する爲め遂に醫師の診察投薬を受くる

募集

文藝其他投稿
ことなくこの如き蔓延を見るに至つたものにして植田署にては係官が防疫醫と共に同地に出張し戸別のに豫防に努めてゐるが今後また蔓延の模様である

明日の天気
南西の風
晴れ

二千の子供達 ヤンヤと大喜び

昨日のコドモ大會

白銀青年團員が大骨折

既報平町白銀青年分團主催の御大典記念事業のコードモ會は昨十七日午後一時から開會したが聴衆の子供達は午前十時頃から詰め掛け

定刻前に 爪も立たぬ程の大人りで「早く開會して頂戴」と計り拍手が鳴り響く、會場正面には銀色の星亂れ飛ぶ前に風船をつるした五色のテープ流れて美しく、演壇の兩袖には數個の花輪が並び立ち劈頭高

はいつ果つべしとも思はれなかつたが午後四時半かつきりに閉會を告げたのは來會兒童の夕食時を考へての事に司會者の用意を成程と肯かした因に此の美しく清らかな催しに際し白銀分團員の献身的な骨折りは當日來會した一般父兄に非常な感謝の的となつて居る

馬の貧血病

入遠野に發生
石城郡入遠野村佐藤吉治所有年齡十二歳牝馬が十四日發病し石城産馬組合上川技手出張診した處眞症傳染貧血病と判明したので縣の許可を得て一兩日中に撲殺

好間軌道撤廢

重役會で決定
平町好間軌道會社では十五日重役會を開き會社の營業貸借について種々協議を重ねた結果收支が償はないので一時運轉を休止してゐた平好間の軌道を全部撤廢し自動車營業を續ければ收支が償ひ從來の欠損を補ふことが出来るのでこの軌道撤廢は當然のことと見られてゐる

赤井嶽住職が 智山派管長

十八日の選舉で
當選後は大僧正
智山派新義真言宗管長の選舉は十八日東京市芝區愛宕町の同宗々務所に於て執行されるが選舉は満場一致に石城郡赤井村の關井嶽住職(準別格本山)住職權正僧旭純榮師が當選する事に内定してゐる當選後は大僧正となり同派の本山京都智音院に入る等なるが現在の常福寺住職は依然兼職する由である同師は水戸の生れにて本年六十五歳常福寺住職就任以來卅年の永きに及んでゐる